

【改善事例活動報告書】

高層住宅の区画貫通箇所、
設備先行消火配管に於ける改善について

目 次

1. 工事概要
2. 改善の動機とねらい
3. 改善実施概要
4. 改善後の効果

1. 工事概要

■ 建物用途：複合住宅

■ 規模：RC造、地上26階・地下1階、207戸、延床面積32,292m²

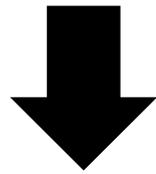
2. 改善の動機とねらい

高層住宅にて・・・

先行消火樹脂配管(エルメックス) ➡ 住戸内電気先行配線後に行う

ヘッダー以降の消火配管(SGP-白)

➡ 乾式遮音耐火間仕切り工事後に穿孔して配管する

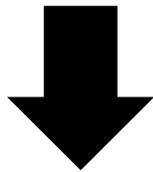


サイクル工程上、間仕切構築後に再度、上階から降りて配管工事(ねじ切り)をしなければならぬ

2. 改善の動機とねらい

そこで以下の2つに着目

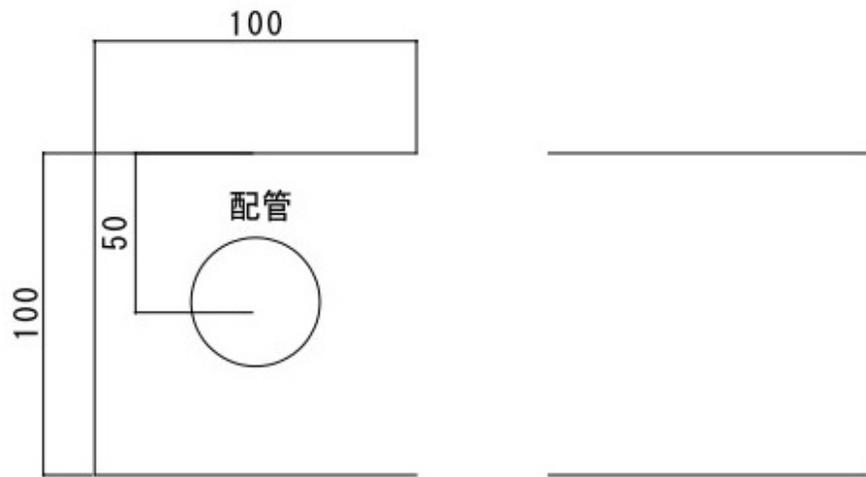
1. 樹脂管とねじ込み配管を同時に出来ないか
2. 乾式遮音間仕切りを工夫して貫通できないか



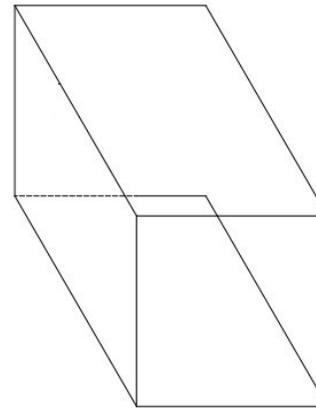
後工程に影響せず施工出来るのではないか？

3. 改善実施概要

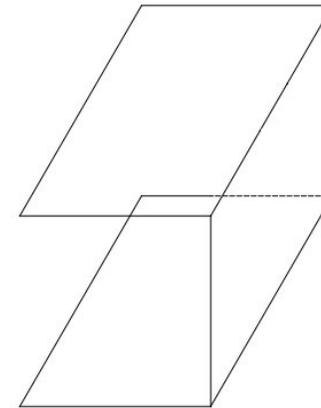
1. ボード貼り時、正方形(100mm×100mm)の開口とする
2. 材料は1.6mm鉄板をコの字形にし、配管施工後に被せる工法とする



加工パーツ①



加工パーツ②



各々の鉄板に吊支持1点支持できるようにタッピングをとる

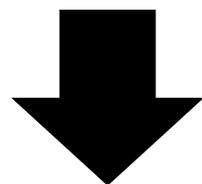
3. 改善実施概要

3. 配管施工後、鉄板を両側から被せ正方形に形成する



4. 改善後の効果

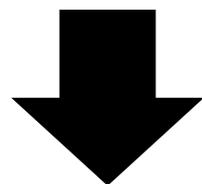
1. 区画貫通部のシール処理をスラブと耐火遮音壁の隙間シール時に同時施工が出来る



時間を短縮することが出来る

4. 改善後の効果

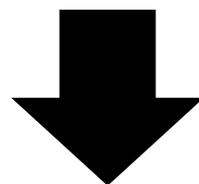
2. 天井配管が先行できるので、アラーム弁装置まで組めば・・・



早期に水張試験が出来る

4. 改善後の効果

3. 壁施工後の穿孔工事が省略でき、作業効率が良くなれば・・・



サイクル工程の短縮が期待できる

サイクル工程表①

